

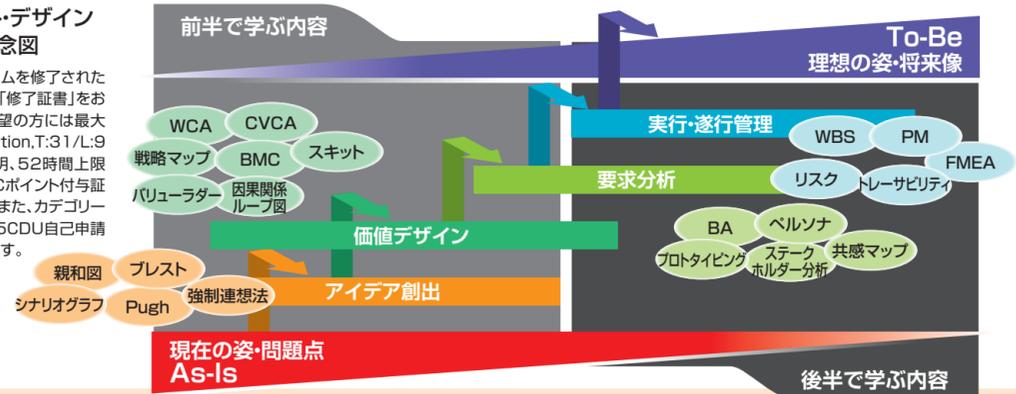
熱い6日間の事業創出ワークショップ。

今年テーマは「**ニューノーマル時代のビジネスを考える**」



プロジェクト・デザイン 合宿研修概念図

全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大49PDU(Education, T:31/L:9/S:9)の受講証明、52時間上限13ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー2Bで最大26.25CDU自己申請することができます。



世界中を巻き込んだCOVID-19パンデミックとそれに対する都市封鎖や自粛要請により、日本社会も未曾有の社会変革を経験することとなりました。今まさに、困難な状況の中、従来とは違った視点からイノベーションを生み出すスキルが重要となっています。

本研修は、複雑な社会の問題に対してイノベーションを創出するプログラムとして、毎年改善を繰り返しながら、12回目に至っております。研修の中では、システム×デザイン思考に関する理論やツールを用いながら、戦略に基づく新規事業プロジェクト・デザインを超上流から具体的な要求分析まで一貫貫したテーマでみっちり体験学習できるSDMならではのカリキュラムです。近年、国連加盟国が目標として掲げるSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)をコンセプトとし、社会システムやビジネス・モデルを策定して来ましたが、本年は更に、緊急事態宣言や解除を経て、ウィルスに限らず想定される社会的環境の脅威と共存しながら、急激に変化するこれからのビジネス・モデルや働き方、暮らし方を考えるよい機会にならうかと思っております。

例年通りSDM教授陣による講師やワークショップを行う他、過去の

研修を修了された受講経験者から、実務での活用実績をご紹介いただき、業務に戻って適用する際に役立つ構成にいたしました。

普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとグループワークを行うアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めます。例年、この研修で出会ったメンバーたちが同窓会を開くほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために本研修をご利用いただいているようです。業種、職種を超えた仲間と一緒に、熱く充実した6日間を過ごしていただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、現時点ではウィルス対策の上での合宿研修を想定していますが、状況により開催方法を変更または中止の可能性もあります。SDMでは、2020年3月より、ワークショップも含めて全面オンラインによる授業を導入しており、システム×デザイン思考の議論やアクティビティについてのノウハウも蓄積しています。開催方針については、9月上旬をめどに確定する予定です。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

大塚 有希子 当麻 哲哉



セミナーコーディネーター
大塚 有希子
Yukiko Otsuka

コンサルタント。慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究所非常勤講師、SDM研究所マネジメントデザインセンター講師、博士(システムデザインマネジメント学)、PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP



監修
当麻 哲哉
Tetsuya Toma

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、SDM研究所マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

3M社の製品開発スペシャリストとして日米両国で20年間、数々のイノベティブな新製品をグローバル市場に導入、2008年より大学教員。2009年に理論と実践の両方を学ぶ産学協同の本合宿研修を立上げ、セミナーコーディネーターとして毎年内容の充実を図り、第9回より監修を担当、現在に至る。2010～2017年 PMI日本支部理事。2015～2019年 科学技術振興機構「プログラムマネージャー」の育成・活躍推進プログラム「メンター」及び講師。2019～2020年 マサチューセッツ工科大学訪問研究員、2020～2022年 PMI本部GAC(PM教育プログラム国際認証機関)ディレクターを兼任。

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関人事部、戦略企画部門を経て、現在は戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材開発を行っている。「組織リーダー養成コース」も担当。SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」のリーダー。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。

第12回「システム×デザイン思考」を実践に生かす プロジェクト・デザイン 合宿研修

募集要項

期 日：2020年10月26日(月)～28日(水)、12月14日(月)～16日(水)

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

募集定員：30名

対 象：プロジェクトをイノベティブに企画・遂行するリーダーを目指す方

受 講 料：300,000円(税別)

※宿泊費は別途お納めいただきます。

※状況によりオンライン開催または中止の可能性がございます。9月上旬をめどに開催見込みをご連絡する予定です。

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。

協生館宿泊施設

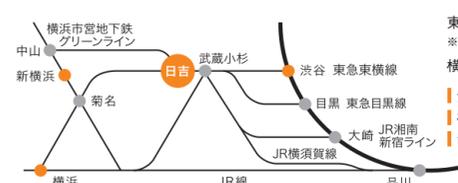
合宿形式セミナーのため、10月26日(月)、27日(火)および12月14日(月)、15日(火)は、原則として協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。(一人部屋、4,000円(税別)/泊)



システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的な研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

交通アクセス



東急東横線、東急目黒線
※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。
横浜市営地下鉄グリーンライン

■渋谷～日吉：急行18分(通勤特急16分)
■横浜～日吉：急行12分(通勤特急10分)
■新横浜～日吉：14分

日吉駅直結

お問合せ先

慶應義塾大学
日吉学生部 SDM担当



〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

第12回 2020

SDM

System Design and Management

プロジェクト・デザイン 合宿研修

2020
10.26(月) → 10.28(水)

12.14(月) → 12.16(水)

計6日間

「システム×デザイン思考」を実践に生かす



一般社団法人 PMI日本支部

【後援団体】



特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会



一般社団法人 IBA日本支部



一般財団法人 エンジニアリング協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

合宿研修スケジュール

前半	
10/26月	
8:00 8:45	【前泊可能】
9:00 10:30	開講式・イントロダクション 10:00-10:30 開講挨拶 当麻
10:45 12:15	「システム×デザイン思考」 白坂
12:15 13:15	昼食・自己紹介
13:15 14:45	研修イントロダクション 「研修概要および演習テーマ」 大塚・当麻
15:00 16:30	休憩 「アイデア創出」 大塚
16:45 18:15	休憩 & チェックイン 夕食懇親会 17:30～19:30
18:15 19:30	「本質的問題解決を妨げる9の思考のワナ」 米澤
19:30 21:00	休憩
21:15 ...	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊

一貫テーマに関するワークショップなど	
10/27火	
「朝食勉強会」 大塚	休憩
「リフレーミング」 長谷川	休憩
「リフレーミング」 長谷川	昼食(各自)
「コンセプト定義」 長谷川	休憩
「価値創出」 長谷川	休憩 & 講師との個別相談
「トレードオフ分析」 当麻	夕食(各自) & 自由時間
「プロトタイピング」 長谷川	休憩
ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	

実務家による事例紹介、ビジネススキルなど	
10/28水	
「朝食勉強会」 大塚	休憩 & チェックアウト
「ビジネスモデル・キャンパス」 濱	休憩
「ビジネスモデル・キャンパス」 濱	昼食(各自)
「戦略マップ」 濱	休憩
「戦略マップ」 濱	休憩 & 講師との個別相談
「戦略マップ」 濱	夕食(各自) & 自由時間
「戦略マップ」 濱	休憩
「戦略マップ」 濱	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊

理論・コンセプト	
後半	
12/14月	
【前泊可能】	
中間発表 「調査分析報告」	休憩
中間発表 「調査分析報告」	昼食(各自)
発表評価および妥当性確認	休憩
「システム・アーキテクチャ」 白坂	休憩 & チェックイン
「実務適用事例」	夕食(各自) & 自由時間
「テラリング議論」	休憩
ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	

行事	
12/15火	
「朝食勉強会」 大塚	休憩
「ビジネス・リスク」 都丸	休憩
「ビジネス・リスク」 都丸	昼食(各自)
「ビジネスアナリシスと要求分析」 大塚	休憩
「ビジネスアナリシスと要求分析」 大塚	休憩 & 講師との個別相談
「ビジネスアナリシスと要求分析」 大塚	夕食(各自) & 自由時間
「ポートフォリオマネジメント」 大塚	休憩
ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	

12/16水	
「朝食勉強会 & グループ・プレゼンテーション準備」	8:00 8:45
休憩 & チェックアウト	
最終発表 「グループ・プレゼンテーションと演習振り返り」	9:00 10:30
休憩	
最終発表 「グループ・プレゼンテーションと演習振り返り」	10:45 12:15
昼食(各自)	12:15 13:15
「思考のワナにハマらないための力を鍛える」 米澤	13:15 14:45
休憩	
「マネジメント・イノベーション・協創・幸せの関係」 前野	15:00 16:30
休憩	
研修振り返り	16:45
休憩	18:15
修講式・表彰式 18:00-19:30	18:15 19:30
19:30 21:00	
21:15 ...	

受講者のコメント



今村 一智
神田通信機
株式会社
(第11回参加者)

上長の勧めで本研修を受講させて頂きましたが、多くの学び(知の経験)を得られたこと感謝しております。また、システム×デザイン思考で枠内にとらわれることなく、多視点で本質を追求していくことで気づきを得られ、具体的な課題解決や価値提供に繋がっていくことを学び、今後の事業運営に活用していきます。最後に6日間の研修を通して多くの企業様と目的達成にむけ、夜遅くまで語り、寝食を共に過ごした貴重な経験が出来たことも、私自身の大きな財産となりました。



北原 章広
オリンパス
株式会社
(第7回参加者)

公開WSで知った「システム×デザイン思考」をもっと深く学びたいとこの研修に参加しました。朝早くから夜遅くまで、初めて会う異業種の方々と一緒に過ごす学びの6日間は、期待以上に刺激的な時間でした。その後は社内でのWS開催や、同僚を研修に参加させるなど、仲間を増やしています。最近では覚えたツールを自発的に使い始めるメンバーも増えてきました。一緒に研修で学んだメンバーとは会社横断でWSを開催したり、講師の方にも相談にのって頂いたり、その後も交流が続いています。そしてふと気が付けば、SDMIに入学している自分がいました。



國枝 麻里子
株式会社
野村総合研究所
(第11回参加者)

現在の部署は、企画段階の案件が多く、推進に悩むこともあったため、体系的に学びたいと思い参加しました。本研修にて、「イノベーション創出は、偶然の産物ではなく、デザイン思考×システム思考にて、狙ってイノベーターに考え、仮説検証を繰り返して、初めてたどり着く境地だ」ということを学び、感銘を受けました。基礎知識や、システム思考に必要な、沢山のフレームワークを講義で学び、その後即実践と、頭と体に叩き込む授業は、刺激的かつ有意義なものでした。この学びを今後業務に活かし、組織へ、顧客へ貢献したいと考えております。



秋元 美由紀
ダイハツ工業
株式会社
(第7回参加者)

様々な業種・業界・年齢を交えた受講生が協働してイノベーターな問題解決に取り組むプログラムは、まさに多様化する現代社会で求められるプロジェクト・デザインを自分の肌で感じられる機会です。五感をフルに働かせて思考するエキサイティングな6日間は、これまでの価値観の壁が取り払われ、新たな次元への成長を実感できました。また、研修の枠を超えて未来に繋がる仲間に出会えることも、この研修の大きな魅力だと思います。



立石 隆章
三菱商事
株式会社
(第5回参加者)

「システム思考」「デザイン思考」という物事の捉え方に大変な刺激を受けました。海外のプラント・インフラ建設プロジェクトに約10年従事して参りましたが、その経験を通じた暗黙知を、この思考の下で体系的に整理できました。その後、如何なる業務もプロジェクト思考で捉え、ゴールに辿り着く道筋を多くの関係者の役割や動機も含めてデザインすることで、組織と、そして自分自身の成果に繋げる事ができ大変感謝しております。



日吉 紀之
横浜市経済局
(第10回参加者)

朝から晩(時には夜中!)まで講義を受け、ワークショップを行いチームでビジネスモデルを考え続けたことは、短距離走のインターバルトレーニングのように頭がショートしかけたこともありましたが、素晴らしい講師やスタッフによるサポートのおかげでなんとか完走することができました。今後はここでの学びをしっかりと社会に還元して明るい未来を創りだし、次の世代に引き継いでいきたいと思ひます!



井川 真里
コココアラポラース
ジャパン株式会社
(第10回参加者)

上司の薦めで参加した研修でしたが、この研修に参加できて本当に良かったと思ひます。SDMの教授だけでなく、経験豊富で実業界で実績のあるプロジェクトマネジメントのプロが講師となり、体験談を交えた講義やワークショップは大変貴重で勉強になりました。また、日頃の業務では関わることのない様々な業種や職種の受講生とのグループワークでは新たな視点や気づきがあり、とても新鮮で刺激的な6日間でした。この研修を通じて出会った異業種の方たちとのネットワークも自身の財産になりました。

講師プロフィール

白坂 成功
Seiko Shirasaka
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士(システムエンジニアリング学)、PMP

三菱電機株式会社では「こうのとり」(HTV-HII Transfer Vehicle)の開発でアビオニクスアーキテクチャ設計、システム安全設計をはじめ、全体インテグレーションを行う。フライトコントローラとして運用終了まで実施。「こうのとり」開発では多くの賞を受賞。2010年度より准教授として当研究科で教鞭をとり、2017年度より現職。専門分野は、システムズエンジニアリング、システム×デザイン思考。2015年12月～2019年3月まで内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)プログラムマネージャーとしてオンデマンド型小型合成開閉レダ(SAR)衛星を開発。

米澤 創一
Soichi Yonezawa
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授 プロジェクトマネジメントコンサルタント、人材育成コンサルタント、プロフェッショナルメンター(若手社員から経営者まで)。京都大学経済学部経営学科卒業。ノースウエスタン大学Kellogg Advanced Business Management Program修了。

元アクセントチュア株式会社マネージングディレクター。26年10ヶ月にわたるアクセントチュア株式会社のキャリアでは、日本におけるプロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、グローバルSAP組織における教育責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(SDM)設立時から教鞭をとっている。著書「プロジェクトマネジメントの生活のススメ」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)

濱 久人
Hisato Hama
株式会社彩成コンサルティング代表取締役 PMAI研修委員会委員、慶應義塾大学大学院・東洋大学 非常勤講師

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当、その後パソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。

長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa
リコージャパン株式会社 人財本部 人材開発室 シニアスペシャリスト 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科附属 デザイン・マネジメント研究所 白坂研究室 研究員

顧客向けプログラマー、システムエンジニアを経て、株式会社リコーの基幹システム要求開発を担当。同時に慶應SDM研究科システムズエンジニアリング学を履修。現在も白坂研究室研究員として籍を置き、人材育成と事業開発を同時に行うメソッドを開発、検証している。技術者、設計者、企画者などあらゆる立場から事業を創出できる方法を論理的に組み立て、企業内で展開検証できるような、事業開発型の人材育成プログラムとして実践している。現在はリコージャパン様にて、販売系の社員に向けた人材開発戦略にSDM手法を活用している。

都丸 孝之
Takayuki Tomaru
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授 博士(システムエンジニアリング学) 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科(慶應ビジネススクール)非常勤講師

富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科および複数の企業にて顧客価値分析を用いた事業創出プログラムを展開。専門分野は、仮説検証型のアプローチを用いた事業の創出、モノとコトづくりの融合(グローバルことものづくり研究ラボの運営)、低コスト部品を調達するためのサプライヤーの開拓・評価など。

前野 隆司
Takashi Maeno
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 博士(工学)

キャン(株)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授等を経て現職。専門分野:人間システムデザイン(社会・コミュニティ、教育、地域活性化、農業、NPO、ヒューマンインタフェース、認知科学・哲学など)。著書:「幸せな職場の経営学」(小学館、2019)、「幸福学×経営学」(内外出版社、2018)、「システム×デザイン思考で世界を変える」(日経BP、2014)、「幸せのメカニズム」(講談社、2013)、「思考脳のつくり方」(角川新書、2010)、「脳はなぜ「心」を作ったのか」(ちくま文庫、2010)など多数。

過去の受講者 ●総受講生240名(第1回～第11回) 男性:女性 = 216:24

